



青 於

7月号



音読集会 (6/21)

どの学年も、「大きな声で、はきはきと」「相手に伝えようという気持ちで」「絵やものを使って分かりやすく」発表できました。クラス全員で、協力することの大切さも学んだようです。このようなすばらしい発表ができたので、これからの学校生活にも自信をもってほしいと思いました。

あいにくの雨になりましたが、保護者の皆さまや地域の皆さまなどたくさんの方に参観いただいたおかげで、よい発表会ができました。ありがとうございました。

- 1年…「とんとことん」「じゅげむ・あひるのあくび」、2年…「お手紙」
- 3年…「これは のみのピコ」、4年…「こわれた千の楽器」
- 5年…「世界で一番やかましい音」、6年…「天地の文」「すてきなじゅもん」



2年いきものさがし(6/14)

鬼怒水辺観察センターに行きました。はじめに、双眼鏡を使って野鳥観察をしました。カイツブリやオオヨシキリが見られました。

次に、網を使い、川辺の水たまりでいきものさがしをしました。アメリカザリガニ、おたまじゃくし、めだかなどがとれました。



4年社会科見学(6/13)

石法寺浄水場、水処理センター、真岡消防署、芳賀地区エコステーションの見学に行きました。住みやすい生活の

ためのたくさんの施設を見学することで、自分たちの日常との関わりを勉強することができました。

朝会の話(7/3)「尊敬する人物」

上杉鷹山先生は、17歳のときに米沢藩主になりましたが、藩は莫大な借金をかかえて身動きが取れない状態でした。そのため、先生は、藩を立て直すことを考えました。「倹約」「農業開発」「殖産興業」などを行い、財政を立て直すことができました。

先生の立派なところは、「自ら節約したり、畑を耕した」ことでした。そのおかげで、天明の飢饉のときに、他国から米を買って領民に配るなどして、1人の餓死者も出ませんでした。また、藩校「興譲館」を作り、無料で入学させ、多くの偉人を輩出しました。鷹山先生は、このような経験から、「成せばなる 成さねばならぬ何事も 成らぬは人の 成さぬなりけり」という言葉を考えました。校長先生は、いつもこの言葉を心にとめて生活しています。児童の皆さんも、「失敗を恐れず、自分が良いと思ったことに、なんでもチャレンジ」できるようにしてください。



いきものとなかよし(6/22)

根本山自然観察センター指導員の相田先生をお招きして、学校周辺のいろいろな生き物を観察する授業を行いました。アメンボ、ダ

ンゴムシ、シジミチョウ、バッタなどを見つけました。セミの抜け殻を見つけた児童もいました。



自転車真岡地区大会(6/13)

真岡市総合体育館で、安全な自転車の乗り方などを競う大会に参加しました。午前中は、学科テスト、8の字やジ

グザク走行などの技能走行テスト、午後は、信号機のある交差点や踏切のある模擬道路の安全走行テストを行いました。



よみきかせ (6/15)

ひばりの会の皆さまによるよみきかせ会を行いました。ひばりの会の皆さまは、年間3回、大内西小に来校していただけます。



授業参観・教育講演会 (7/5)

授業参観の後、PTA・青少年健全育成連絡会・学校保健委員会共催による教育講演会が行われました。カルビー・スナックスールの伊藤先生をお招きして、「おやつとのつきあい方」について講演をいただきました。おやつについて、①心の栄養になること②不足分の栄養摂取ができること③食事の2時間前までに摂ることなどの話をいただきました。



ご参加なされた地域の皆さまや保護者の皆さま、大変ありがとうございました。